OKAYAMA UNIVERSITY

文部科学省　科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

NEWSLETTER

No. 25

2020.10

岡山大学　ダイバーシティ推進本部　男女共同参画室

Index

女性研究者派遣事業／令和元年度　利用者の声＆上司の声 …… 1
第Ⅻ期 WTT 教員１名着任／第Ⅵ期 WTT 教員２名テニュア教員へ／第Ⅷ期 WTT 教員１名テニュア教員へ …… 2
サイエンス・トーク＆トライアル　2020 on-line　開催／申請受付中の支援事業 …… 3
新しい相談体制について／貸出図書の紹介／新室長就任ご挨拶／新室員ご挨拶 …… 4

女性研究者派遣事業

本事業は、本学女性研究者を海外の大学・研究機関等に派遣し、研修並びに共同研究の機会を提供することを通じて、研究力の向上と今後の共同研究の継続・発展、研究者ネットワークの構築を進め、女性上位職となる候補者層を充実させることを目的としています。特に、若手女性研究者（准教授・講師・助教・非常勤研究員等）が本事業を通して実績を積み、上位職を目指すことを支援する事業です。

URL　https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/dispatch-project-female-faculty/

令和元年度 利用者の声

［氏名］濱田（はまだ）　麻友子（まゆこ）　［所属］理学部附属臨海実験所　［職名］助教

現在私は理学部附属臨海実験所で、海洋など水圏環境における動物の環境適応について研究しています。女性研究者派遣事業では、海洋学分野でユネスコチェアを務めるキール大学（ドイツ）と、欧州トップの臨海実験所である CNRS／ソルボンヌ大学・ロスコフ生物学研究所（フランス）に約２ヶ月間滞在する機会をいただき、動物と藻類の共生進化に関する研究を行いました。現在、藻類共生性動物のグリーンヒドラやムチョウウズムシを用いて国際共同研究を進めていますが、研究費を助成していただいたことで、渡航先でも自分のやりたい研究を行うことができ、ゲノム解析などを用いた新たな実験にチャレンジすることができました。また、直接ディスカッションすることによって研究を効果的に進めることができたと同時に、新たなアイディアに結びつくことも多々あり、非常にエキサイティングな経験でした。渡航先では多くの研究者との出会いによって新規プロジェクトも立ち上げることができ、将来に繋がる非常に有意義な滞在になったと感じています。これを足がかりに、岡山大学における多国間の国際研究交流をより発展させたいと考えています。

上司の声

［氏名］坂本（さかもと）　竜哉（たつや）　［職名］理学部附属臨海実験所長

濱田さんは、当臨海実験所が認定されています共同利用拠点のコーディネイト担当任期付き助教ですが、今回の派遣の機会には、私共も大変感謝しています。研究成果があがったのはもちろん、キール大学がちょうど海洋ユネスコチェアですので、併せて本学理事も訪問され、築いた連携は SDG14等を見据えた本学の教育・研究推進に広く貢献すると思います。派遣中の業務を補完する助教と RA も雇用でき、実験所に支障はありませんでした。彼女のような研究者が、海外での成果により、ポストアップの可能性があるのは素晴らしいと思います。私自身も任期付き背水の陣での在米研究時が、最もプロダクティブでした。先方の評価も高く、十数年後には本学との大学間協定にいたりました。任期付き研究者の本派遣事業の活用を期待します。

第XII期ウーマン・テニュア・トラック（WTT）教員1名着任（令和2年4月1日）

STEVER SAMANTHA LYNN（スティーヴァー サマンサ リン）

［所　　属］ 大学院自然科学研究科（理）数理物理科学専攻　　［職　　名］ 助教（特任）

［研究内容］ I work in the field of instrumentation and instrument science for cosmology and X-ray space missions, especially on the upcoming JAXA-led space mission LiteBIRD. LiteBIRD seeks to measure cosmological B-modes, which would give historical evidence towards cosmic inflation. In order to achieve this, LiteBIRD must be able to measure a very tiny signal and have precise control and mastery over systematic effects. I am mainly working on the interaction between radiation (cosmic rays) and highly-sensitive sub-Kelvin detectors, as well as the thermal effects affecting the telescope focal plane from charged particle impacts. I also plan to apply my knowledge of detection systems to experimental efforts towards astroparticle physics experiments (dark matter detection and/or neutrino measurements), as well as understanding of other systematic effects facing the next generation of space, balloon, and ground-based telescopes.

［WTT教員になっての抱負］ As a WTT faculty, I hope to expand my current expertise by inspiring the next generation of students (undergraduate or graduate) as a leader of a laboratory and as an educator. By utilising the opportunity of being a PI, my current interest in systematic effects will blossom into a fully-fledged laboratory sparking innovations in the coming decades for space instrumentation.

第VI期 WTT 教員2名テニュア教員へ（令和2年4月1日）

根本　理子（ねもと みちこ）

［所　　属］ 大学院環境生命科学研究科（農）農生命科学専攻

［職　　名］ 助教

［WTT教員5年間を振り返って］ 所属研究室の先生方をはじめとする多くの先生方、および男女共同参画室の皆様の温かいサポートのおかげで、思う存分研究に打ち込むことができ、充実した5年間を過ごすことが出来ました。この場をお借りして感謝申し上げます。また、個性豊かな学生さんたちを含め、素晴らしい共同研究者にも恵まれ、切磋琢磨しながら研究を進めることができました。この恵まれた研究環境に感謝しつつ、これからもオリジナリティを大切にして研究に取り組んでいきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。

小布施　祈織（おぶせ きおり）

［所　　属］ 大学院環境生命科学研究科（環）環境科学専攻

［職　　名］ 准教授

［WTT教員5年間を振り返って］ 5年間の感想を簡潔に一言で表現するならば“疲れた”以外の選択肢はありません。常に忙しく、常に眠く、常にいっぱいいっぱいで、常にとっ散らかっていました。もう少し詳しく表現するならば、“たくさんのことを学ぶ機会と時間を与えてもらえたことに感謝している”が最適でしょうか。学部に所属して講義を担当したり、卒論や修論の学生を指導したり、研究会を主宰したり、WTT を通して親しくなった友人とこれまで想像もしなかった分野の共同研究を開始したり…、この5年間で未知のことをたくさん経験しました。これまで少人数または単独での研究活動しかしたことがなかった私の世界が広がり、視野が広がり、研究における交友関係が広がりました。自分の無能さを痛感すると同時に、ほんの少しの自信も手に入れました。また、WTT や所属学科を通して、社会に所属するという実感を得たことも大きな出来事でした。これからも、5年間で経験したことを活かしつつ、さらに多くのことを学んでいきたいと思っています。

第VIII期 WTT 教員1名テニュア教員へ（令和2年4月1日）

YUCEL ZEYNEP（ユジャイ ゼイネップ）

［所　　属］ 大学院自然科学研究科（工）産業創成工学専攻　　［職　　名］ 助教

［WTT教員3年間を振り返って］ I was a WTT teacher at Graduate School of Natural Science and Technology from April 2017 to March 2020. This was a very challenging period in my academic career, in which I worked hard and gained lots of invaluable experience. Research was the most interesting and intense aspect, since WTT requires high quality and impactful achievements. I found the opportunity to work independently as well as with fellow faculty members and collaborators from international institutions, which broadened my horizon. Regarding teaching, I had little experience when I arrived at Okayama university. Over the three years, I had the chance to prepare my own lectures at both undergraduate and graduate levels, and the opportunity to work with experienced teachers, from whom I learned a great deal. Without the invaluable guidance of my mentor professor, it would not have been possible to accomplish these goals. The members of gender equality office were available at any moment to provide support and assistance. I would like to express my sincere gratitude and deep appreciation to all my colleagues and students, who were involved in my studies. I believe I will profit from the experience I gained during WTT throughout my academic career.

注：ウーマン･テニュア･トラック（WTT）制は、女性若手研究者が5年間、自立した研究者としての経験を積み、テニュア教員の採用基準に達していると評価された場合に、テニュア教員として採用される人事システムです。

令和２年度　各種イベント　開催

サイエンス・トーク＆トライアル　2020 on-line

期　間　2020年８月１日～８月25日　　対象者　中学生・保護者・学校の先生等

女子中学生が、理系で活躍する研究者や大学院生と接することで、多様な理系分野の魅力を知り、理系分野を身近に感じてもらうことをめざして企画されたプログラムです。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全てのプログラムをオンラインで開催しました。

[サイエンス・トーク（最先端の科学についての講演動画を配信）]

テーマ　身の回りの液体の性質について－ pH（酸性・アルカリ性）－

講　師　井上　麻夕里／大学院自然科学研究科（理）准教授

身の回りにある液体の「酸性」「中性」「アルカリ性」の性質の違いや、普段何気なく使う“水の大切さ”について学びました。

[サイエンス・トライアル（最先端の科学についての実験動画を配信）]

テーマ　自宅で酸性・アルカリ性を調べてみよう！

講　師　井上　麻夕里／大学院自然科学研究科（理）准教授

スーパーで売っている“ある野菜”を使って、簡単に自宅で「酸性」「アルカリ性」を調べる実験をしました。実際にチャレンジした参加者からは、夏休みの自由研究になったとのコメントがありました。

[サイエンス・ライブ（女性科学者による座談会のライブ配信）]

テーマ　教えて！博士！－大学の先生に聞いてみよう！－

放送日　2020年８月８日（土）14：00～16：00

講　師　井上　麻夕里／大学院自然科学研究科（理）准教授
御輿　真穂／大学院自然科学研究科（理）助教
増田　潤子／大学院ヘルスシステム統合科学研究科（工）助教
門田　有希／大学院環境生命科学研究科（農）准教授
小布施　祈織／大学院環境生命科学研究科（環）准教授

本学の若手女性科学者５名がライブ形式のトークイベントを開催。事前登録者限定で ZOOM を使用してその様子をライブ配信しました。参加者からは、「事前の質問のボードを用意してもらえて嬉しかった。先生たちがリアルタイムで質問にわかりやすくどんどん答えてくださって、楽しかった。」「ZOOM ウェビナーのチャット機能で、疑問に思ったことをすぐに答えていただけたので、ワクワクして、より集中して視聴できました。」等のコメントがあり、好評のうちに、終了しました。

【申請受付中の支援事業】

事業名		受付期間	URL
研究支援員事業		令和２年12月28日（月）まで 随時受付	https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/research-support-staff/
復職支援助成金事業			https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/reinstatement/
女性教員 支援助成金	マネジメント力向上支援型 他機関訪問型 国際学会発表型 国際学会発表型（次年度予約）		https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/grant-female-faculty/
ベビーシッター派遣事業割引券事業		令和３年３月31日（水）まで 利用日の１週間前までに申請	https://www.okayama-u-diversity.jp/grant-support-activities/babysitter-support/
なかよし園による 令和２年度園児随時募集		定員に空きがあれば募集 入所希望月の２カ月前の 10日までに申請	https://www.okayama-u-diversity.jp/birth-childcare-nursing-care-support/childcare-facility/nakayoshien/enrollment-guide/
ますかっと病児保育ルームによる 病児・病後児保育		定員に空きがあれば募集 利用希望日の前日までに申込	https://www.okayama-u-diversity.jp/birth-childcare-nursing-care-support/childcare-facility/muscat-byoji-hoiku-room/booking-availability/

新しい相談体制について

男女共同参画室では、従来のワークライフ・ファミリーサポート室の相談体制を発展させ、新たに「女性研究者のためのメンタープログラム」及び「ダイバーシティよろず相談プログラム」を開始します。

詳細については Web サイトをご参照ください。

URL https://www.okayama-u-diversity.jp/consultation

貸出図書の紹介

男女共同参画室では、男女共同参画や育児、介護等の様々な図書をご準備しております。学内便による貸出を行っておりますので、貸出希望の方は、Web サイトをご参照ください。

URL https://www.okayama-u-diversity.jp/consultation/about-yorozu/library/

新しく追加された書籍

ある日、突然始まる
後悔しないための介護ハンドブック

著　者：阿久津（あくつ）　美栄子（みえこ）
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
発行日：2017年２月27日

看取り先生の遺言
2000人以上を看取った、がん専門医の「往生伝」

著　者：奥野（おくの）　修司（しゅうじ）
出版社：文春文庫
発行日：2016年１月10日

新室長就任ご挨拶

岡山大学病院ダイバーシティ推進センター　教授　片岡（かたおか）　仁美（ひとみ）

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室は本年で開設９年目を迎えました。日頃のご支援を感謝申し上げます。本年４月より今村先生の後任として男女共同参画室長を拝命しました。ダイバーシティ＆インクルージョンの推進のため、努力する所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

私は男女共同参画室が開設された平成21年より同室の事業に携わってまいりました。平成21年度に文部科学省の「女性研究者支援モデル育成事業」に採択されたことを契機に、学童保育、研究支援員制度が開始され、ウーマン・テニュア・トラック（WTT）制が設置されました。本年４月までに計26名の WTT 教員を採用し、20名の WTT 教員がテニュアを取得しテニュア教員として本学にて活躍しております。

平成27年度には「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、令和元年度には「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択されました。同事業では SHINE（Sustainable Healthy Innovation with Network & Empowerment）をコンセプトに女性研究者のポストアップ促進とその候補者層の研究力向上を図ります。

誰もがそれぞれの資質を活かし、尊重しあえる大学を目指してこれからも新たな取り組みを進めてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

新室員ご挨拶

大学院自然科学研究科（工）　准教授　藤森（ふじもり）　和博（かずひろ）

今年度より室員を仰せつかりました大学院自然科学研究科（産業創成工学専攻）の藤森と申します。専門は通信工学・マイクロ波工学で、通信デバイスやワイヤレス送電に関する研究を行っていますが、この電気に関する分野はまだまだ女性研究者の割合が低い分野でもあります。女性研究者・女性教員が置かれている状況の多様さを理解し、工学系の教員として可能な支援の在り方を考えながら、男女共同参画室の取組みのお役に立てるよう努めたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新室員ご挨拶

大学院自然科学研究科（理）　准教授　井上（いのうえ）　麻夕里（まゆり）

今年度から室員となりました井上と申します。３年前までは WTT 教員として活動しており、専門は地球化学・古環境学で、主にサンゴ礁を対象として海洋に関わる研究を行っています。子育てをしながら教育・研究活動を行っていますので、これまでにダイバーシティ推進本部によるサポート事業を何度か活用させてもらっています。利用者としての経験を生かしつつ、働きやすい環境改善に少しでもお役に立てるよう尽力していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。

問合せ　国立大学法人　岡山大学　ダイバーシティ推進本部　男女共同参画室

〒700-8530　岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL：086-251-7011/7303　FAX：086-251-7033
EMAIL：sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
WEB：https://www.okayama-u-diversity.jp